【米田主宰の俳句】

ころがって

米田規子

お日さまの匂いのタオル風邪心地
飛行機雲ほどけて淡く冬菜畑
出会いがしらの綿虫と三輪車
墓域明るく冬帽の婆三人
鍵盤をていねいに拭き冬の暮
揺れながらこころと体冬至粥
極月や一本道をころがって
選曲に迷いを残し大寒波
冬日燦一病ふっと貌を出し
ありったけの力を使い冬紅葉